

- (1) 工事コストの低減
 資材の生産・流通の合理化、効率化（施策番号 ）

海砂の輸入及び代替材料の使用等による安定的な資材調達

**関西国際空港
2期空港島埋立部地盤改良工事**

【施策の概要・ポイント】

中国などから海砂を輸入
 2期工事では地盤改良工事(敷砂・サンド・ドレーン)に使用する海砂(約2,060万m³)の安定的な調達及び資材費高騰抑制のため、また近年瀬戸内海における環境保護も問題となっているため、国内海砂の他に輸入海砂(約280万m³)及び安価な代替材料(約300万m³)の確保・調達を行いました。

海砂の輸入にあたってはコスト面、安定供給の可否、自然環境への影響を事前に綿密にチェックした上で、大型作業船による国内初の工事海域への直接大量搬入を行いました。

2.5億m³もの山砂の一括確保

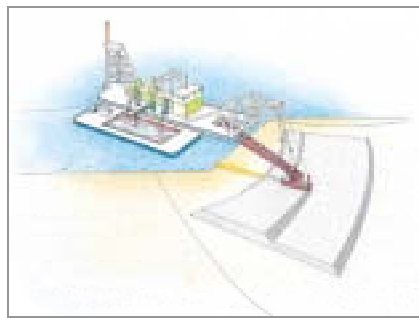
2億5千万m³もの山砂調達について、着工3年前から大阪・兵庫・和歌山の各府県に対し調達協力の要請を行い、関空から近く運搬距離の短い土源を早期に確保するとともに、調達量及び価格について事業者自ら各開発業者と事前に交渉を行い、単価の抑制に努めました。

【施策の実施状況・イメージ図】

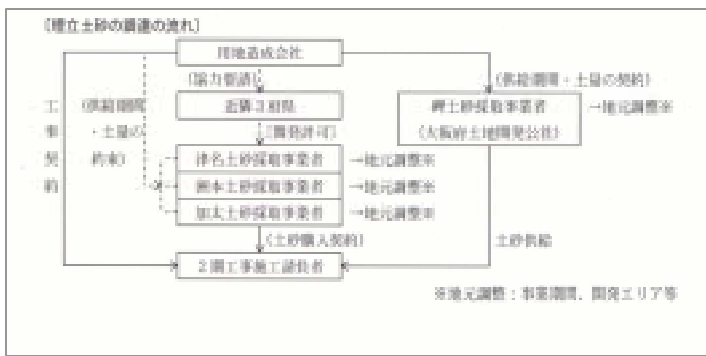
<海砂の輸入>



海砂輸入により安定的な供給を実現



<山砂調達のスキーム>



<関空への運搬距離が短い土源を確保>

